

山行計画

10月の山行・顔振峠

鎌倉時代、源義経と弁慶主従がここを越えるとき、周囲の景観に振り返りながら峠を越えたというのでこの名前になったといわれている峠です。奥武蔵の見晴らしが楽しめます。

■日 時：2014年10月14日（火）雨天中止（前日午後7時の天気予報で決定）

■集 合：西武秩父線 東吾野駅 午前9時30分

■コース：東吾野駅→ユガテ→エビガ坂→越上山→諏訪神社→顔振峠→吾野駅

■持ち物：通常の日帰り山行装備

■担 当：児嶋和夫

TEL042-973-9431 メール：k-kojima@tbgt.com.ne.jp

■申し込み：10月12日（日）（参加人数確認のため）

11月の山行・「辻村植物公園」と秋の小田周辺里山

小田原から箱根登山鉄道二つ目の風祭駅に集合し、荻窪水道・旧山縣有朋別荘地を通り、辻村植物公園へ行きます。ユウカリの木や糸杉など珍しい外来種樹木を見ながら、城山公園から小田原へ下ります。

■日 時：2014年11月11日（火）小雨決行

■集 合：箱根登山鉄 道風祭駅 午前10時

■コース：風祭駅→清瀧山萬松院（茅葺き屋根のある寺）→荻窪水道→山縣水道の水源池
→水之尾毘沙門天→辻村植物公園（四季の丘/昼食、こもれびの道、太陽の丘）→城南中
前→城山公園・慰霊塔→小田原高校の樹叢→小田原駅西口：解散16時頃

[天候によりコース変更あり]

■装 備：軽ハイキングの用意、雨具、帽子、昼食等

■係 員：山田幸枝 TEL/FAX 03-3709-3238 TELかFAXで連絡願います。

携帯：090-4663-2898(当日用)

■申し込み：11月10日（月）

【辻村植物公園について】

この公園の前身は辻村農園の梅林でした。辻村農園は小田原の山林家大地主辻村家の 6

代目の辻村常助と弟の伊助兄弟によって明治 40 年代に創立されました。

創立当時は小田原駅の付近に在ったのですが、大正 7 年頃鉄道建設に伴い現在地に移転しました。辻村農園は西洋草花を主として扱い、種子や球根の通信販売等も手掛けるなど、当時としては先進的な農園経営をし、また諸外国から樹木の種子を取り寄せて、庭園や公園樹としても試作も行った。

辻村伊助は農芸科学者としてまた登山家としても知られ、日本山岳会の大先輩あたり、「スイス日記」等の著書がある。

彼は高山植物の栽培と研究を行い、高山植物を種子から育てることにより、高山の自然を破壊から救おうと志した日本では最初の人であった。

彼によって多くのヨーロッパアルプスの植物が日本の園芸界に紹介されたが、このことを知る人は少ない。

当時の樹木のうち、ここの風土に適したものが残り、年月を重ねて、他の植物園や植物公園などでは見ることのできない外国産樹木の美しい景観を形成しています。

昭和 61 年、小田原市が辻村農園主、辻村克良氏の協力を得て、約 4.7ha を整備し、平成 2 年 6 月に植物公園としてオープンされました。

12 月の山行・能岳・八重山

春先には花々に恵まれる里山、三等三角点の能岳(542.7m)に登り、石仏が待つ能岳峠に下り八重山で周囲の展望を楽しみつつ昼食、「五感の森」と名付けられた展望台を經由して眼下の上野原中学前に下る。大堀バス停から上野原駅に行く場合と、当日の天候など状況により上野原遊歩道を経由して上野原駅に戻ります。

■日 時：2014 年 12 月 17 日(水) 雨天中止 (12 月の例会は都合で水曜日です。)

■集 合：JR 上野原駅改札口午前 9 時 10 分

■コース：上野原駅前バス発 9 時 25 分(新井行)→新井 9 時 40 分→能岳頂上 11 時→能岳→八重山(昼食)11 時 40 分～12 時 20 分発→五感の森展望台→上野原中学校→上野原遊歩道を秋葉山・根本山を経由して上野原駅または大堀バス停から上野原駅

■費 用：上野原駅から新井 バス代 250 円

■担 当：里見清子・金井一子

■申し込み：12 月 15 日までに金井一子

電話番号 03-3714-7388・携帯電話 090-1452-4013

以上